

会議状況等報告書							報告者	小高 清楓			
会議の名称		令和6年度第2回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会									
日時		令和6年9月25日(水) 午後1時30分～午後2時30分					場所	おおぶ文化交流の杜図書館 サポーター室2			
出席者	委員	松岡 礼子	加古 有子	鈴木 善博	神田 由美	赤堀 路世	竹内 紀人	澤田 智子			
		○	○	○	○	○	○	○			
	事務局	近藤 部長	田中 課長	細谷 係長	小野 主事	小高 主事	村上 図書館長	小倉 マネージャー			
		○	○	○	欠席	○	○	○			
傍聴者 0名											
内容											
1. 委員長あいさつ											
2. 議題											
令和6年度4～7月期事業実施報告について											
※資料1～5に基づき事務局説明											
●第一四半期トピック紹介											
・図書館、公民館、歴史民俗資料館、石ヶ瀬会館で5年に1度の図書館システムの一斉切り替えを実施した。											
・7月1日に開館10周年を迎えた。記念として人形劇特別公演、図書館こどもまつり等の各種イベントを開催した。											
・OLVと図書館の児童班が共同で出版した世界の絵本作家総覧について、岡山県以外のすべての県に1冊以上導入した。全国の大学の教授から問い合わせがあったため、今後も設置の拡大が進むのではないかと見られる。											
<u>今後について</u>											
・年末から年明けには歴史民俗資料館で「宮沢賢治と文学」という展示を開催する。その記念講演を歴史民俗資料館との共催で行う予定。宮沢賢治の弟の孫を講師としてお迎えする。											
・記念イベントと市民文学交流会を兼ねた宮沢賢治の読書会の開催を検討中。OLVの協力で行う。図書館の館内整理日(休館の時間帯)にナイトライブラリーとして、宮沢賢治のチェロを用いた弦楽コンサートや読み聞かせを開催する予定。											
●施設利用状況											
●地区別登録者数、貸出者数											
・有効登録者数が年々減少している。(2017年47%⇒2024年27%) 来館しても本を借											

りない方が増えてきている。しかし、図書館の魅力が減少したわけではなく、図書館への来館目的が変化していると考えている。

・毎年市内では1000人以上の新規登録がある。現状貸し出し点数、施設利用状況が減少傾向ではあるが、総来館者数は年度内には500万人に、総貸出冊数は来年7月頃には、1500万冊になると見込んでいる。今後は有効登録者の掘り起こしと新規登録者の増加を新しい企画を通じて行っていく。

●事業実施報告

・新規来館者獲得を目的として、2016年リオオリンピックのレフリーを経験された大槻卓さんと7人制ラグビーの日本代表のケレビ選手を迎え、(株)豊田自動織機とのコラボレーション企画を開催した。今後もこのような事業を通して新規来館者の獲得を目指す。

・サポーター養成講座「こどものとも再発見」を開催した。世界各国の絵本を紹介し終わったため、日本の絵本の紹介を行った。参加希望人数が定員人数を超えるほどの大盛況であった。

・第35回図書館子どもまつりを開催した。大府市内の中学校高校のボランティアをお願いした。来場者は2日間で2500人となり、昨年から350人増加した。新しい催し物は、(株)豊田自動織機の現役ラグーマンの読み聞かせである。

・ふるさと講座「酔っごいキッズのなつやすみ」は、昨年図書館で開催した講座をアウトリーチ事業として市内北山公民館で開催した。

●期間中に発生した事故・ご意見

【意見交換】

(委員) 発生した事故・意見について、食べ物に関する事案が増えているように感じる。

(館長) 他の図書館では食事が可能なところもあることも原因か。

(委員) 誰か一人がやっているとはほかの方が勘違いしてしまう。入り口にぱっと見でわかるような掲示を行うというのはどうか。

(館長) 当館の歴史上、何かを禁止するような掲示はしないという方針がある。今のところは根気強く注意をしていこうと思う。

(委員) 女装した方のトイレの問題について、センシティブなものではあるが、何か解決策はないか。

(委員) 市での対応はどのようにしているのか。

(課長) このような問題について耳にしたことはないが、各階に多目的トイレは設けている。

(委員) 性同一性や性自認の問題は、医療現場でも積極的に介入していない。見た目判断して声かけはしておらず、本人の訴えや苦情がない場合には、対応できない問題ではないか。

(委員長) 一つ一つ個別対応を行っていくことが大事である。

(委員) サポーター養成講座について、市外の方はどのような方法でこの講座のこと

を知り、参加したのか。

(委員) 同じTRCの図書館内で告知をしたことによって様々な場所から参加者が来たのではないか。

(館長) この講座自体にリピーターが多いため、このために遠くから来ている方が何人かいらっしゃる。

3. その他

館長より電子図書館の取り組みについて学校教育課から学校連携に関する許可が下りたところのご報告があった。早くても11月スタート予定である。

(委員) 図書を購入する予算が割り当てられるということか。

(館長) 電子図書館の使い方の提案についての許可が下りたということである。

(委員) 電子図書館で図書を自由に閲覧できる用になることで、貸出統計への影響はあるのか。

(館長) 図書館システムには反映されず、別のシステムで管理することが可能。

(係長) 見た目上の貸出冊数が減少してしまうことにはなるが、市内の子どもたちに朝読を通じて読書の楽しさを知ってもらえるといいなという取り組みである。

【次回開催連絡】

第3回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会 未定

以上